



日付	2018/03/16	天気	晴れ
現地時間	PM12:00	日本時間	AM01:00
本日の活動	2018.3.16 ポストン研修最終日	Report No.	9

Events & Photos

本日は、ポストン研修の最終日でした。研修内容はポストン市内の班別自主研修です。各班決められた時間の中で事前に班員同士で相談して決めた行き先に出かけていきました。気温は本校のある札幌市を彷彿とさせるような寒さでしたが、それでも好天に恵まれ絶好の研修日和となりました。

自主研修の朝ということで、朝の全体ミーティングでの生徒向け諸注意は、班長を代表して2組須田君、3組神野君から、今日の研修を充実したものにするためのルールや安全面などの注意事項が確認されました。生徒自身が、主体的に考え、動くということもこの研修の大きな目的の一つです。

自主研修先で多くの班の訪問先となっていたのは、ゴーガンやミレーなど著名な画家の名作を多く展示する「ポストン美術館」、メジャーリーグでも屈指の人気と実力を誇るポストン・レッドソックスの本拠地「フェンウェイパーク」、古き良き市場の雰囲気と最新のショッピング街の雰囲気を併せ持つ「クインシーストリート」などでした。

「ポストン美術館」ではその規模の大きさと名作の数々に時間を忘れるほどで、班によっては4時間以上も留まる班もありました。「フェンウェイパーク」では、レッドソックス関連のグッズ購入だけでなく、およそ1時間のスタジアム見学ツアーがありました。ツアーに参加した生徒たちは、風もあり肌寒さも感じながらも、グリーンモンスター（フェンウェイパークのレフトフェンス）の迫力に圧倒されていました。「クインシーストリート」では、ポストン市民の生活が感じられる市場だけでなく、大きなフードコートが立ち並び、生徒からは『食事が美味しかった』といった感想が聞かれました。また、ポストンの地下鉄移動にも慣れてきた様で、迷ったりすることもなく、ポストンならではの英国植民地時代風、Early Americanの街並みを各班が充分満喫していました。

夕方になると、生徒はホテルに一度戻り、夕食のために再びホテル付近を散策しました。レストランを自分で予約する班もあれば、ピザを買ってホテルで一緒に食べる班もあり、生徒一人一人がポストン最後のディナーを楽しんでいました。



▲自主研修前に代表生徒による注意事項の周知がありました



▲ポストン美術館は一日では回り切れないくらいの広さでした



▲フェンウェイパークにて、レッドソックスの帽子が似合っています

夜にはオプションツアーが実施され、およそ半数の生徒が「ボストン交響楽団」の演奏を鑑賞しました。曲目はチャイコフスキー交響曲第6番「悲愴」、バーンスタイン交響曲第3番「ガティッシュ」で、約2時間のコンサートでした。小澤征爾氏がおよそ30年指揮をとり、世界に数ある交響楽団のなかでも屈指の楽団の演奏を聞ける貴重な機会に恵まれました。1組の柳橋君は、「美しい歌声、弦楽器の奏でるハーモニー、管楽器の力強い音色など素晴らしい演奏が聞けて、もしかしたら一生に一度になるかもしれないとても良い経験ができたと思います。」という感想を寄せてくれました。多くの生徒が世界最高水準の芸術に触れ、感性を磨くことができたのではないのでしょうか。

明日はいよいよニューヨークへ移動し、この修学旅行も終盤を迎えます。さらにいろいろな経験を積むことで、これからの生活にとって、貴重な財産を得てくれることと思います。

(文責 29期生学年団)



▲クインシーストリートのフードコートにて



▲シンフォニーホールにて、ボストン交響楽団の開演を待っています

